

日時：2010年9月1日（水）14：00～17：25

場所：東洋大学6号館第3会議室

## 日本パーソナリティ心理学会 第98回常任理事会

出席：浮谷秀一理事長、堀毛一也副理事長、藤田主一、渡邊芳之、小塩真司、山崎晴美、二宮克美、向田久美子、中村真、安藤大会準備委員長

委任：松田英子（浮谷理事長）

事務局長：加藤司、事務局幹事：太幡直也

### 報告事項

#### 各種委員会報告

##### 1 機関誌編集委員会（渡邊委員長）

(1)「パーソナリティ研究」の発行状況について

1)「パーソナリティ研究」第19巻1号の発行状況について

「パーソナリティ研究」第19巻1号は8月5日までに会員に送付された

2)「パーソナリティ研究」第19巻2号の発行状況について

「パーソナリティ研究」第19巻2号の掲載論文を決定した。下表の10本（原著3本，資料4本，ショートレポート3本）である。刊行予定通り11月の発行を予定している。

掲載番号	審査番号	種別	題目	筆頭者	受稿	受理
19-2-1	A-226	原著	見捨てられスキーマが境界性パーソナリティ周辺群の徴候に及ぼす影響	井合 真海子	2009.9.25	2010.6.2
19-2-2	A-217E	原著	レジリエンスの資質的要因・獲得的要因の分類の試み	平野真理	2009.7.3	2010.6.16
19-2-3	A-229	原著	Cultural scripts in narratives about future life - A comparison between Japan, China and the U.S.	向田久美子	2009.11.20	2010.6.22
19-2-4	B-A-208E	資料	認知的方法の違いがセルフ・ハンディキャッピングやストレス対処方略の採用に及ぼす影響	光浪陸美	2009.3.18	2010.6.2
19-2-5	B-48E	資料	中学1年生における共感喚起過程と感情的結果、感情理解の関係	登張真福	2009.1.28	2010.3.16
19-2-6	B-52E	資料	中年期の夫婦関係において成人の愛着スタイルが関係内での感情経験ならびに関係への評価に及ぼす影響	金政祐司	2009.6.16	2010.3.23
19-2-7	B-53	資料	面識があまりなくても、他者の愛着スタイルを認識することは可能なのか？	中尾達馬	2009.7.31	2010.5.7
19-2-8	S-166	ショートレポート	気晴らし方略が問題解決に及ぼす影響	及川 恵	2009.11.6	2010.3.22
19-2-9	S-167	ショートレポート	日本語版Experiences Questionnaireの作成と信頼性・妥当性の検討	栗原 愛	2009.11.6	2010.4.7
19-2-10	S-146E	ショートレポート	自己愛者の自己価値随伴領域	中山留美子	2008.12.18	2010.7.24

(2)「パーソナリティ研究」の編集状況について

1)「パーソナリティ研究」第19巻3号以降の編集状況

\*採択論文はショートレポート2本、択投票中が1本、修正採択修正中が1本ある。来年3月の発行を予定している。英文論文の掲載についても引き続き努力する。

(3) 投稿状況について

年	月	原著	資料	ショートレポート	展望他	合計	備考
	9	3	2	1	0	6	
	10	0	0	1	0	1	
	11	3	2	2	0	7	
	12	3	0	3	0	6	
2010	1	1	1	3	0	5	
	2	2	1	0	0	3	
	3	2	0	4	0	6	
	4	3	1	3	0	7	
	5	2	0	2	0	4	
	6	3	3	2	0	8	
	7	1	0	3	0	4	
	8	6	0	3	0	9	8月27日
	合計	29	10	27	0	66	

(4) 審査状況について

\* 採択率は6割程度である。

年月	採択	要修正再審査	不採択	投稿取下	備考
9	3	15	2	1	
10	1	6	0	0	
11	4	12	1	0	
12	3	9	5	0	
2010/1	3	4	0	0	
2	6	5	1	0	
3	5	6	0	0	
4	1	4	2	1	
5	1	9	2	1	
6	4	14	4	1	
7	0	3	0	1	
8	2	5	1	1	8月27日
年間計	33	92	18	6	

(5) その他

1) 論文の転載請求について

\* 赤坂瑠以「携帯電話の使用が友人関係に及ぼす影響」(16号 pp. 363-377)をお茶の水女子大学「英文モノグラフ」に翻訳して転載(審査のない紀要への投稿)したいとの申し出があった。問題がないことが確認され、承認された。

2) 次期編集委員の推薦依頼について

\* 10月の大会時に13人の編集委員が任期満了退任となるため、同数の次期編集委員を依頼する必要があり、常任理事からも推薦をしてほしい。一般会員からも推薦依頼をしたいとの申し出があり、承認された。

3) EBSCOへの掲載について

\* 掲載が承認された

2 経常的研究交流委員会(二宮委員長)

(1) 第 19 回大会開催時における委員会企画

1) 「生活習慣病の改善および予防にかかわるパーソナリティ」

話題提供者：齋藤瞳（東京福祉大学）、林容市（千葉工業大学）、小山朝一（東邦大学医療センター）

指定討論者：馬場天信（追手門学院大学）

2) 集団コミュニケーションとパーソナリティとの関連

話題提供者：日向野智子（立正大学）、村山綾（元大阪大学大学院）、中村美枝子（流通経済大学）

指定討論者：大久保智生（香川大学）

3 広報委員会（小塩委員長）

(1) 任期の修正について

2010 年の大会まで 大和田，桑村，山田

2011 年の大会まで 奥田，佐藤，毛

2012 年の大会まで 伊藤，木村，水野，阿部，小塩，家島

\* 承認された。第 96 回常任理事会の議事録には修正した内容を加筆することになった。

(2) 活動報告

\* web サイトの更新

\* メールニュースの配信（3 回）

(3) 今後の活動予定

4 国際交流委員会（向田委員長）

(1) 第 19 回大会企画

1) Roberts 博士セミナー

テーマ「遺伝から文化まで幅広くパーソナリティや適応を考える

話題提供者：菅知絵美（東京女子大学）、谷伊織（浜松医科大学）、平石界（京都大学）、山形伸二（慶応義塾大学）

指定討論者：Brent W. Roberts（イリノイ大学）

2) 招待講演

講演者：Brent W. Roberts（イリノイ大学）

タイトル：Construction and reconstruction: The reciprocal relation between conscientiousness and work, marriage, and health across the life course

講演を録音し、原稿を英語論文に起こす予定である。

(2) World Conference on Personality and Individual Differences との協賛について

\* de Raad 氏（organizer）が前理事長宛に協賛に関する問い合わせをしていたが、返事がなかったとのこと。現在、de Raad 氏と連絡をとり、詳細について問い合わせをし、協賛する方向で検討中である。

(3) ARP のニューズレター

\* 次号に投稿する原稿として、第 19 回大会の報告を高木邦子先生に依頼した。

## 5 学会活性化委員会（藤田委員長）

### （1）大会発表賞について

\* 第 19 回大会では、例年同様、大会発表賞を設ける。

\* 第 1 次審査の状況が報告された。

### （2）「大会発表賞規程」の作成について

現在、「規程」の作成について検討中である。

### （3）学会活性化の提案について

「発表賞」以外の活性化（案）について議論・提案する活動に入る。

## 6 各種電子化検討小委員会（中村委員長）

機関誌「パーソナリティ研究」の電子版強化ならびに紙媒体（印刷版）の廃止について検討するための予備的データを得るために会員向けアンケートを実施する。

第 19 回大会で実施する。

アンケートの内容が吟味され、大会で配布、回収されることが承認された。

## 日本心理学諸学会連合

### 1 日本心理学諸学会連合について（理事長）

#### （1）国資格に係るカリキュラム案についてのアンケートについて

アンケートの内容が説明され、どのような回答をすべきかが議論された。大学院教育カリキュラムC案に関して、大学院教育カリキュラムの第 2 領域に「パーソナリティ心理学」を加えたうえ「修正付き賛同」として回答する。加えて、総単位数について質問する。

### 2 心理学検定試験について（藤田常任理事）

心理学検定が実施され、申込み数 2260 名、受験者数 2031 名、9 月には結果が発表される予定である。

## 第 19 回大会準備状況について（安藤大会準備委員長）

ポスター発表 113 件、自主企画 3 件の申し込みがあった。

前日の 9 日に合同会議を 16：00 から実施する予定で、18：30 から懇親会を実施する。

## 事務局報告

合同会議の案内ならびに事務局幹事の紹介がなされた。

#### 性格心理学ハンドブックについて（二宮担当常任理事）

\* 「性格心理学ハンドブック」(仮)の発行の進展状況について、二宮担当委員より報告があった。刊行は2011年10月頃を予定している(大会で発刊のアナウンスをする)。B5版、2万円程度を予定している。全24章あるいは25章を予定しており、章立てが紹介され、承認された。執筆者については、次回常任理事会で、詳細な報告をする予定である。

#### その他

\*なし

#### 審議事項

##### 1 2009年度決算に関する件

部分的な修正のうえ、承認された。

繰越金は、主に、第20回大会での外国人招聘ならびに「ハンドブック」への助成のために使用する。

##### 2 第97回常任理事会議事録承認に関する件

承認された。

##### 3 新入会員に関する件

###### (1) MLでの承認済み会員

一般会員：4名

院生会員：6名

学生会員：1名

###### (2) 未承認

一般会員2名

承認された。

###### (3) 会勢報告

\* 以上を受けて、賛助会員1名、名誉会員6名、一般会員576名、院生会員281名、学生会員7名、計871名(8月31日現在)

###### (4) 退会希望者

2名の退会が承認された。

#### 4 その他

なし

次回常任理事会は理事会との合同で、10月9日16:00より慶応大学にて実施する。